校訓	真 善 美	令和6年度 学校だより 「荒中だより」 6月　水無月 June　第13号	発行日	令和6年6月26日
教育目標	自ら考え、行動し、 未来を創造できる生徒の育成 -感謝する心、確かな学力、健やかな心身を育てる-		発行者	伊丹市立荒牧中学校 校長　山崎 佳恵

ようこそ先輩プロプロジェクト　～教育実習生編～

荒牧中学校では、令和３年度から様々な分野において、社会で活躍されておられる先輩方に来校いただいて講演会をしてきました。今年度も講師の先生を探しています。ふと、考えると３週間身近におられる大学生の先輩方＝7 名の教育実習生の先生方です。将来、教師になることを目標に勉強されていますが、たくさんある職業の中で『教師』という仕事に関心をもち、情熱を注ぎ、勉強しておられる先輩方からたくさんの事が学べるのではないでしょうか？きっと、この荒牧中学校で、尊敬する先生方と出会い、３年間という時間の中で、大きく影響を受けたのだと感じます。その先生方の姿を目標に「次は自分が!！」と思われたとすると『人との出会いは、人の人生を左右するほどの影響がある財産』ですね。

【教育実習生のみなさんにインタビューしました】

Q. 中学校時代の私

A. ●入学当初は、人前で話すことが苦手でしたが、委員会活動に参加したり、野球部の副キャプテンをつとめたりと、自分から積極的にチャレンジしたことで、コミュニケーション能力や行動力が身についたと思います。

●自分の意思は持っていたけれど相手によっては言えないような、ネガティブな人間でした。行事や部活動などには、とにかく積極的に参加していました。

●英語の暗唱・スピーチ大会や佛山市との姉妹都市交流など、自分がやりたいと思ったことには何でも挑戦してきました。部活動は、バドミントン部に所属しており、副キャプテンをつとめました。勉強は好きだったのですが、数学が苦手でテスト前にはワークを３週以上解いて、わからないことは担当の先生に質問をしに行ってました。

●長距離走が学年で１番でした。陸上部長距離のエースでした。学力は真ん中より少　し上、学校好きで元気でした。

●中学時代は、明るくて活発な生徒でした。外部でスポーツをしており、学業ともに負けず嫌いでした。ひとつのことを最後までやり遂げる性格でした。

●ソフトボール部に属し、部活動ばかりに力を入れていましたが、テスト１週間前のタイミングで、完全に勉強に気持ちを切り替えて授業していただいている先生方はもちろん、他学年の先生方にも、放課後に勉強を教えていただきました。そのおかげで、どの学年にも仲の良い先生がいて、その先生方に支えられて、受験期も乗り越えることができました。

●学級委員長やバドミントン部の主将として、毎日常に何かを意識して過ごしていました。そこのでついた責任感は、今でも大学の部活動や成人式実行委員などで役に立ちました。中学時代からスポーツが大好きで、昼休みや体育の授業でも活発に動いていました。厳しくて、愛情のあるＮ先生にたくさんご指導いただきました。